

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ドクターシロクマの重症心身障がい児デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年 1月 22日		2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員を多く配置できていることにより安心して療育が受けられている。	1日の児童数に合わせて人員配置を行っている。	配置数だけではなく各専門職員のスキルアップを図れるよう事業所内勉強会の継続、外部研修への参加、資格取得の推進等を行っている。
2	言語聴覚士・理学療法士による個別療育	ニーズを把握し、必要な専門的個別療育を実施している。自宅での訪問リハビリへ見学に伺い、役割分担や共通理解ができるようにしている。連携が取れることにより保護者様の安心感も作れている。	今後も適宜、関係各所と連携を取り利用児童にとって必要な療育が提供できるよう取り組んでいく。
3	きめ細かな送迎対応	保護者様の就労状況等を把握し、ニーズに沿った送迎対応を行っている。	児童のライフステージ変更等に伴う環境変化にもあわせて送迎対応ができるよう工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個室が確保できていない。	個室空間がないためパーティションで隔離空間を作っているがSTによる個別療育等の際に周囲への注意が遮断できないため児童の集中をかわしてしまうことがある。	ハード面は構造上変更することは難しいためパーティション隔離の継続や集中しやすい環境設定やイヤマフの使用など工夫していく。
2	入浴サービスがない	ビルの構造上療育室内に水回り設備が作られていないため。	入浴サービスに頼らずとも通っていただけるよう個別・集団・イベント・職員に満足いただけるサービスを提供していく。
3	小児用トイレがない	ビルの構造上療育室内に水回り設備が作られていないため。	ポータブルトイレを設置して対応している。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 ドクターシロクマの重症心身障がい児デイサービス

公表日

令和8年3月6日

利用児童数 20

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	1			・事務所に向くことがあまりなく、様子を見ることがないため。	SNSや写真等を通じて、デイでの様子がより身近に感じられるよう取り組んでいきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	・外出の際など、人員を増やし安心していきます。	安心していただける職員配置を今後も心掛けてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16				・こけてぶつけた等、聞いたことがない。	安全に過ごしていただけるよう障がい特性に応じて環境設定に配慮いたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				・体を動かせるスペースもあり、ゆっくり遊べる場所もあると思う。	安心安全に楽しく過ごせる空間づくりを心掛けてまいります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16				・リハビリの専門家も常駐していて、子にあった支援を受けている。	ニーズにお応えできる支援が行えるよう努力してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16				・希望する内容を実行している。	ニーズにお応えできる支援が行えるよう努力してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16				・計画も適切で、保護者のニーズにも答えてくれている。	ご本人様、保護者様と常に情報共有を行い支援計画へ落とし込めるよう努力してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				・こちらの意見も取り入れ、対応している。	今後も個別支援会議や普段の療育場面において適切な支援を検討してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				・宿題をしてほしい等、希望通りに実施していると感じています。	計画を全職員が頭頭に置いて支援に取り組んでまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16				・毎月楽しいイベントありがとうございます。 ・月ごとにイベントカレンダーを作り、行事を楽しんでいる。	今後も継続して行事が開催できるよう努力してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	2		10	・地域の小学校に通っているため、特に必要性ありません。	デイとして地域の子どもたちと活動する機会が設けられていないため今後検討してまいります。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16				・面談で不明な点も明確に説明を受けました。	契約時にご説明させていただいております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	2	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16				・出来た事、出来ない事に対して、共感し解決策を考えてくれています。	各家庭環境も踏まえ助言・共感できるようコミュニケーションを図っていききたいと思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15			1	・こちらの疑問に親身に答えて下さりました。	個別面談時以外でも普段からご相談いただける事業所風土を構築できるよう努力してまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16				・マイナスな意見でも、否定しないで聞いてくれる。	各家庭環境も踏まえ助言・共感できるようコミュニケーションを図っていききたいと思います。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	4	4	5	・イベントごとは分かりません。 ・今、特に必要ないので大丈夫です。別でやっています。	現在父母会等開催しておりませんが以前開催いたしましたBBQ等、ご家族様が気軽に楽しく参加できるイベントを今後は計画できるよう検討してまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13				・兄弟の事情もよく理解して下さり、迎場所、時間も柔軟に対応してもらっています。	普段の送迎時やSNSでも気軽に相談いただける環境であることをお伝えさせていただいております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15				・送迎時にも、しっかりと様子や出来事を話せています。	今後も継続して情報共有が行えるよう努力してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			1	・SNSでも活動の様子を知る事が出来ている。	今後もより一層分かりやすくお伝えできるよう発信していきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14			1	・SNS等、情報発信の場でも、特定されないように配慮がされています。	個人情報の取扱いには全職員十分に注意するよう周知徹底しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			2	・「避難訓練をした」と子から聞くことがあります。	SNSや写真等を通じて、訓練等の様子をわかりやすく発信してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			2	・「避難訓練をした」と子から聞くことがあります。	SNSや写真等を通じて、訓練等の様子をわかりやすく発信してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				・大好きな先生に甘えられて嬉しそうだと感じます。 ・「今日は〇〇さん」と、誰のことも嫌がる様子はないため。	今後も「楽しい」「行きたい」と思ってもらえるデイサービスを提供できるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				・毎回「楽しかった!」と元気に帰ってきます。 ・デイサービスの日だと分かる喜んでいきます。	今後も楽しめる行事やゲームなどを提供できるよう努力してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・丁寧かつ連携がしっかりしている。 ・活動写真を見せていただけると、とても楽しそうにしている様子が伺えます。	安心してお子様に通所していただける環境と支援をご提供できるよう努力してまいります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		ドクターシロクマの重症心身障がい児デイサービス				公表日	令和8年3月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4		通所児童が年齢を重ねるにつれて身体も大きくなってきており利用児童数が多い場合は療育室が手狭に感じる時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	・パーテーション使用	・個室が作れるのであればあった方が良い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1		・内容や役割もう少し詰めた方がより良い支援につながる。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	サービス担当者会議、送迎時等で情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	9		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			